

**国際会議報告**  
**INTERNATIONAL**  
**MEETINGS**

# 国際会議報告 第13回環太平洋地域学会

THIRTEENTH MEETING OF THE PACIFIC REGIONAL SCIENCE CONFERENCE ORGANIZATION

## 加賀屋誠一\*

Seiichi KAGAYA

第13回環太平洋地域学会 (Thirteenth Meeting of the Pacific Regional Science Conference Organization : PRSCO Meeting) が1993年7月11日から14日にかけて、カナダブリティッシュコロンビア州ウィスラーにおいて開催された。今回の大会も前回同様、カナダ地域学会の大会 (Seventh Annual Meeting of the Canadian Regional Science Association : CRSA) と同時に行われたもので、カナダ地域学会主催で開催された。

環太平洋地域学会の本大会は、2年ごとに開催されているもので、前回12回大会はオーストラリアのケアンズで1991年に開催された。本大会は、7月10日の理事会から始まり、7月11日は開会式を兼ねた大会基調講演およびレセプションが行われた。基調講演は、大会委員長 J. M. Munro (Simon Fraser University) の司会の下で、環太平洋地域学会会長 Roy Powell (University of New England, オーストラリア)、および Prof. Alan Artibise (University of British Columbia, カナダ) の2名によって行われた。講演のタイトルは、表-1に記載するが、それぞれ、オーストラリアの地域研究を通して、実践的な分野での研究の重要性と、カナダブリティッシュコロンビア州、北西アメリカワシントン州での諸都市間の協力体制の現状と、将来の構想、および課題を論じた。

12日から14日の3日間にわたっての個人研究の発表は、共通セッションごとに行われた。セッションは、表-2に示される51に分けられ、各セッションは、2ないし3のプレゼンテーションから構成された。今回の発表形式は、各発表が約30分で、その中に、各発表に1名ずつ討論者がつき、ディスカッションを活発に行うように配慮されていた。表-2からもわかるように、本大会の共通セッションは、地域社会における経済開発、地域開発、地域格差問題など主として、地域経済分野のセッションや、地域モデルや定量モデル、地域都市モデルなどのモデル開発分野のセッション、また、環境政策、エネルギー資源問題など資源環境分野のセッションと共に、交通、都市交通、都市問題、都市計画等の比較的、土木に

表-1 第13回環太平洋地域学会の基調講演

- (1) Roy Powell : Lessons for Regional Scientists from the Experience of a Practical Regional Developer
- (2) Alan Artibise : Rhetoric Versus Reality: Urbanization, Governance and Sustainability in the Vancouver-Seattle Region-

表-2 環太平洋地域学会での共通セッション

地域科学・地域問題関係  
 Perspectives on Regional Science Theoretical Topics  
 (2), Regional Policy Issues,  
 Regional Development,  
 Social Issues in Regional Change Information and Regional Change.  
 地域経済関係  
 Regional Disparities (2), Community Economic Development (6),  
 Migration, Labour Markets  
 地域・都市モデル関係  
 Quantitative Methods (2), Regional Models (3), Regional and Urban Models  
 資源環境関係  
 Natural Resources, Environmental Policy  
 土地問題・都市計画関係  
 Urban Issues, Urban Planning, Urban Location,  
 Facility Location, Location Patterns, Urban Land  
 交通問題・交通計画関係  
 Transport (2), Urban Transport (2), Urban Transportation Planning,  
 Trade Flows (2), Tourism Tourism and Community Development  
 地域問題事例関係  
 Regional Development in Northern British Columbia,  
 British Columbia's Regional Economy, Regional Development in Mexico (3),  
 Regional Development in Europe Regional Science in Europe, Mexico and Nafta (2),  
 High Technology Industries in Asia (2)

なお、( )内の数はセッション数を示す。セッション配列・分類については、著者の整理によるものである。

なじみの深い分野のセッションで構成されている。

参加者は、16カ国141名(7月8日付登録者、国際会員のみ)であり、その内訳は、アメリカ合衆国37名、カナダ30名、日本27名、オーストラリア21名の順で、U.K. 4名、オランダ6名等ヨーロッパからの参加もあった。さらに6名のメキシコの参加も目立った点である。

\* 北海道大学大学院地球環境科学研究科 助教授  
 (〒060 札幌市北区北10条西5丁目)

日本からの参加者は、日本地域学会の経済分野の会員が多かったが、土木学会員も8名の参加があった。これらの参加者は、施設配置計画、地域格差、都市交通・および計画、理論的問題、地域都市モデル等のセッションで、それぞれの研究を紹介した。セッションでは、前述したように、討論者による討論と、会場からの討論が活発に行われ、また、ブレークの時間を通して、相互の研究の交流が数多く見られた。さらに、会場のシャトゥ・ウィスラー・リゾートは、大部分の参加者の宿泊にも利用されており、会議の合間にも十分な討議の時間を持つことができた。

今回の特徴としては、各地域の学会活動の現状と地域科学の展望のセッションが行われ、地域科学の問題点や、将来の見通しについてディスカッションできたこと、また、開催地ブリティッシュコロンビア州に関わるセッションをはじめ、メキシコや、アジア、ヨーロッパ等の地域単位のセッションが加わり、各国・各地域の地域科

学研究の実情が把握できた点である。これは、セッションタイトルには具体的には現われないが、日本からの参加者による日本セッションに近い形で行われたセッションもあり、地域特性が十分生かされた内容が多かったように思われる。

開催地のウィスラーリゾートについての詳しい紹介は避けるが、大会関係者が最適地として選定したスケールが大きな通年リゾート地域という印象を強く受け、観光に関わるプレゼンテーションが多かったこともあわせて、今大会にかける情熱と意気込みが十分感じられた。

大会終了後、バンクーバーでポストコンファレンスマーティングが開催されて、具体的なバンクーバー周辺開発地域の視察も加えた研究交流が行われた。

なお、次回の1995年の大会は、台北で行われる予定である。

(1993.8.3 受付)